

【今回のテーマ】

『私が見つけたSDGs』の宿題の中で、たくさんの発見や取り組み、自分にできることのアイディアがありました。未来新聞にて紹介します Part 4。自分事として捉え、何をすればSDGsにつながるのかを考えましょう。

関連するSDGsの目標



関連するSDGsの目標



二つの責任 1年2組

私が知りたいなと思ったSDGsの目標は、12の「つくる責任 つかう責任」です。「つくる責任 つかう責任」では、持続可能な生産形態・消費形態を確保するというテーマをもとに、目標が定められています。この目標は次の世代にも地球をつなげるために、資源やエネルギーを大切にすることを目標として定められています。ではまず、世界の中で大量生産が原因となり、問題となっているのが「捨てられる大量の食品」です。2021年に世界自然保護基金(WWF)が発表した報告書では、世界で生産された食品のうち25億トンが無駄になっているのかが分りました。(資料①)これは以前、フランスのハリでは、家に二つ冷蔵庫があるそうです。一つは家用、もう一つは外用です。外用ってなに?と思う方が多いかもしれません。外用は、食品ロス回避用です。外の冷蔵庫にあまったりした食品を入れます。するとたれかが取っていき、食品ロスがなくなります。私は、これは真がいいなと思いました。私のSDGs宿題はこれで終わりです。感想は、これを機にSDGsについてたくさん知ることができた。これからは、まじりのことをしようと思いました。

資料①

資料②

平和が受け入れられる世界へ 1年3組

今、世界では戦争や人種差別による争いが今もどこかで起きています。直接的ではなくとも、インターネットによる精神的な暴力をうくめて、5分に一人、このような暴力によって子どもが亡くなっています。このようなあらゆる暴力をなくすためには、どのような取り組みが必要でしょうか。必要とされると思うのは、人としての立場を平等にし、世界から取り残される人がいなくなるような世界をつくらなければならないと考えています。人の立場というのは、人種差別から上司部下という関係まで全て客観的に見て、一人の個人と個人という立場で見ることが大切です。このような小さな取り組みから、少しずつ活動を継続していくことで、少しずつ目標に近づいていかなければなりません。つまり、小さいことでもコツコツと少しずつ取り組むことによって、争いや暴力のない、本当に平和な世界が言われる、ぼくは思います。

「食品ロスにNON!パリで話題の『みんなの冷蔵庫』

現在「みんなの冷蔵庫」は、1台につき1日約40~50人が寄付し、70人ほどが消費するそうです。今ではフランス全土に広まり、パリ市内で15か所、国内で70か所に冷蔵庫が設置されているそうです。トゥール大学の構内にも置かれている。これは大学側の「学食廃棄」問題にも大いに貢献したそうで、手持ちの少ない大学生、留学生にも大好評だったそうです。

「みんなの冷蔵庫」の取り組みは、食品ロスを無くすだけでなく、地域の助け合い制度を作り、ひとり親家庭、お年寄り、失業者といった人々と社会的な関係を結ぶことも目的だという。



パリにあるレストラン「La cantine du 18」の2017年から続く「les frigos solidaires」(連帯冷蔵庫=みんなの冷蔵庫)

世界の平和のためには、まずは、「どんなことが世界で今、起きているのか」を知ることがとても大切です。テレビやニュースで見かけたら調べてみたり、家族や学校の友だちや先生と話したりしてみるのも良いでしょう。関係するようなイベントや募金に参加することも、遠い日本からできることの一つです。

また公正な社会をつくっていくためには、わたしたちが積極的に政治にかかわっていくことも大切です。日本では18歳さいから選挙権があるので、ぜひ選挙に参加して、自分の意見を政治に届けるようにしましょう。

1位	ソマリア	99.9%
2位	ベトナム	99.3%
3位	ラオス	97.9%
4位	シンガポール	93.6%
5位	エチオピア	93.2%
(略)		
118位	アメリカ	65.4%
140位	韓国	58.0%
158位	日本	52.7%
172位	スイス	48.5%

世界の投票率